

令和7年度 国語科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・国語を適切に正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 指定教科書

国語科	3学年	教科書名（出版社）	光村図書
		副教材	・新・基礎の学習・つまづかない文法の学習・級別漢字レッスン ・新・国語の便覧・東京都そっくり5（創育）、ラインズ e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・本文全体の構造を踏まえ、作者の主張を捉えることができる。
- ・本文全体の展開をつかみ、自然描写や人物の言動などから心情を捉えることができる。
- ・自分の考えを正確に伝えることができる。
- ・古典文法の用言を体系的に整理したうえで、助動詞・助詞を理解し、古文を正確に読解する力を身につける。
- ・漢文の基礎知識を身につけ、書き下し文を正しく書けるようにする。

4 学習の進め方

- ・教科書に沿い、読解力の意識技能を養っていく。
- ・話し合い活動や発言の中で多角的な考えを獲得し、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・日々の漢字学習や文学作品に多く触れる機会を作ること。
- ・家庭学習としてラインズ e-ライブラリを有効的に活用する。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・夏休みに少人数の補習を実施。
- ・グループ型学習などでの意見集約や共有する際に活用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容(回数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期 4月	世界はうつくしいと (1時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <主体的に取り組む態度> ○進んで語感を磨き、友達や考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。	<知識・技能> ・ノート ・ワークシート ・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・音読 <知識・技能>
	握手 (4時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 <思考・判断・表現> ○文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。 ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 <主体的に取り組む態度> ○物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。	・ノート ワークシート ・観察・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート ・ワークシート ・観察 ・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察
	漢字に親しもう1 (1時間)	<知識・技能> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 <主体的に取り組む態度> ○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<知識・技能> ・ノート ・ワークシート ・観察 ・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート ・観察
	意見を聞き、適切さを判断する (1時間)	<知識・技能> ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 <思考・判断・表現> ○目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 <主体的に取り組む態度> ○聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。	<知識・技能> ・聞き取りメモ <思考・判断・表現> ・聞き取りメモ ・ワークシート ・観察 <主体的に取り組む態度> ・聞き取りメモ ・観察 ・交流
5月	文法への扉1 「走って」いるのは誰？ 文法1 文法を生かす (1時間)	<知識・技能> ○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 <主体的に取り組む態度> ○助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート ・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート ・観察
	説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす(3時間)	<知識・技能> ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 <思考・判断・表現> ○自分の立場や考え方を明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 <主体的に取り組む態度> ○相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見直しをもって自分の考えを伝えようとしている。	<知識・技能> ・ノート ・観察 <思考・判断・表現> ・ノート・発表 <主体的に取り組む態度> ・観察 ・交流
	言葉1 相手や場に応じた言葉遣い (1時間)	<知識・技能> 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 <主体的に取り組む態度> 相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ワークシート ・観察 ・交流
	学びて時に之を習ふ ——「論語」から(2時間)	<知識・技能> ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 <思考・判断・表現> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。	<知識・技能> ・ノート・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート・発表・定期考査 ・作文 <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察
		<知識・技能>	<知識・技能>

6月	作られた「物語」を超えて(3時間) 思考のレッスン 具体化・抽象化(1時間) 論理の展開を意識して書く グラフを基に小論文を書く(4時間) 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう2(1時間) 俳句の可能性 俳句の創作教室 俳句を味わう (4時間) 言葉の釣り糸を垂らす (2時間)	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 <主体的に取り組む態度> ○進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 <知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <主体的に取り組む態度> ○具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。 <知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ○文章の資料を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 <主体的に取り組む態度> ○論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。 <知識・技能> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 <主体的に取り組む態度> ○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 <知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <思考・判断・表現> ○俳句の構成や表現のしかたについて評価している。 ○表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。 <主体的に取り組む態度> 進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 <知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <思考・判断・表現> ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 <主体的に取り組む態度> ○筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	・ノート 定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・作文 <主体的に取り組む態度> ・観察 ・ノート <知識・技能> ・ワークシート ・観察 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート ・観察 ・交流 <知識・技能> ・ワークシート ・小論文 <思考・判断・表現> ・ワークシート ・小論文 ・交流 <主体的に取り組む態度> ・小論文 ・交流 ・観察 <知識・技能> ・ノート ・ワークシート ・観察 ・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート ・観察 <知識・技能> ・作品・ワークシート・定期考査 <思考・判断・表現> ・作品・ワークシート <主体的に取り組む態度> 観察・ワークシート <知識・技能> ・ノート・定期考査 <思考・判断・表現> ・観察・ノート・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート・発言・観察
7月	言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化 (1時間) 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう (2時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 <主体的に取り組む態度> ○進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。 <知識・技能> ○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 <思考・判断・表現> ○文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	<知識・技能> ・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察・交流 <知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート

	情報整理のレッスン 情報の信頼性 (1時間) 読書を楽しむ (1時間) 「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？ (1時間)	<主体的に取り組む態度> ○文章の種類を踏まえて、積極的に情報を読み取り、学習課題に沿って実生活への生かし方を考えようとしている。 <知識・技能> ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組もうとしている。 <知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <主体的に取り組む態度> ○進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。 <知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○進んで本の探し方について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。	<主体的に取り組む態度> ・観察・交流 <知識・技能> ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・発言・観察 <知識・技能> ・ノート <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察・交流 <知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・観察・交流
2学期 9月	挨拶 ——原爆の写真によせて (2時間) 故郷 (5時間) [推敲]論理の展開を整える (2時間) 言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語 (1時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <思考・判断・表現> ○詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価している。 <主体的に取り組む態度> ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 <知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 <主体的に取り組む態度> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 <主体的に取り組む態度> ○目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係について知識を生かして書き改めようとしている。 <知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <主体的に取り組む態度> ○慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。	<知識・技能> ・ノート ・定期考査 ・ <思考・判断・表現> ・ノート ・発表 ・ <主体的に取り組む態度> ・ノート ・観察 ・発表 <知識・技能> ・ノート ・ワークシート・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート ・ワークシート・発表・作文 <定期考査> <主体的に取り組む態度> ・ノート・作文 <知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・推敲文 ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・観察・ワークシート <知識・技能> ・ワークシート・小テスト <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・観察・交流
10月	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る (1時間)	<知識・技能> ○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 <思考・判断・表現> ○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 <主体的に取り組む態度> ○話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。	<知識・技能> ・ワークシート・発表 <思考・判断・表現> ・ワークシート・発表 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・発表

	漢字2 漢字の造語力 (1時間) 複数の意見を読んで、考えようー正解が一つに決まらない課題と向き合うー(3時間) 考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く (4時間) 漢字に親しもう3 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 文法2 文法のまとめ (1時間) 聴きひたる 初恋 (1時間) 和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序 (1時間) 君待つと ——万葉・古今・新古今 (2時間) 夏草 ——「おくのほそ道」から (3時間) つながる古典 古典名作選 【書く】古典の言葉を引用し、メッセ	<知識・技能> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 <主体的に取り組む態度> ○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 <知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 <主体的に取り組む態度> ○三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 <知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ○論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見だしている。 <主体的に取り組む態度> ○自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。 <知識・技能> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 <主体的に取り組む態度> ○今までに学習した知識を生かして、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 <知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <主体的に取り組む態度> ○進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。 <知識・技能> ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 <主体的に取り組む態度> ○進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 <知識・技能> ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 <思考・判断・表現> ○和歌の表現のしかたについて評価している。 <主体的に取り組む態度> ○進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見直しをもって自分の評価を書こうとしている。 <知識・技能> ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 <思考・判断・表現> ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 <主体的に取り組む態度> ○作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表しようとしている。 <知識・技能> ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	<知識・技能> ノート・観察・ワークシート・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察 <知識・技能> ・ノート・ワークシート・観察 <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート・観察・交流 <主体的に取り組む態度> ・観察・交流・ノート <知識・技能> ・ワークシート・作文 <思考・判断・表現> <主体的に取り組む態度> ・観察・交流・ワークシート・作文 <知識・技能> ・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察・交流 <知識・技能> ・ワークシート・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・観察・ワークシート <知識・技能> ・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・観察・ノート・音読 <知識・技能> ・ノート・ワークシート・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・観察・交流・ノート <知識・技能> ・ノート・ワークシート・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・観察・交流・ノート <知識・技能> ・ノート・ワークシート
--	--	--	--

12月	ージを贈ろう (1時間)	<思考・判断・表現> ○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 <主体的に取り組む態度> ○長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かしてメッセージを書こうとしている。	<思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・観察・交流・ノート
	それでも、言葉を (3時間)	<知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。	<知識・技能> ・ノート・観察・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート・交流・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察・交流
	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4 (1時間)	<知識・技能> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 <主体的に取り組む態度> ○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<知識・技能> ノート・ワークシート・観察・定期考査 <主体的に取り組む態度> ノート・観察
	話し合いを効果的に進めよう (1時間)	<知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。	<知識・技能> ・ワークシート・観察 <思考・判断・表現> ・ワークシート・観察 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・観察
	合意形成に向けて話し合う 課題解決のために会議を開く (3時間)	<知識・技能> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 <主体的に取り組む態度> ○合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート・観察・発表 <思考・判断・表現> ・ワークシート・観察・交流・発表 <主体的に取り組む態度> ・観察・交流・ノート・発表
	本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう (1時間)	<知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、読んだ本や興味をもった本について語り合おうとしている。	<知識・技能> ・ノート <思考・判断・表現> ・ノート・交流 <主体的に取り組む態度> ・ノート・交流
3学期 1月	温かいスープ (2時間)	<知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	<知識・技能> ・ノート・ワークシート・交流 ・定期考査 <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート・観察・交流 ・定期考査 <主体的に取り組む態度> ・ノート・交流・観察
	アラスカとの出会い (2時間)	<知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○人間、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	<知識・技能> ・音読・ノート・ワークシート <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート・交流 <主体的に取り組む態度> ノート・観察・交流

2	律儀な桜 (1時間)	<知識・技能> ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <思考・判断・表現> ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。	<知識・技能> ・ノート・ワークシート・音読 <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート・交流 <主体的に取り組む態度> ・交流・ワークシート
	わたしを束ねないで (1時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <思考・判断・表現> ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。	<知識・技能> ・発表 <思考・判断・表現> ・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> 観察・ノート
	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする (4時間)	<知識・技能> ○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 <主体的に取り組む態度> ○粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。	<知識・技能> ・発表・ノート <思考・判断・表現> ・ノート・発表 <主体的に取り組む態度> ・観察・ワークシート
	初日 (1時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <思考・判断・表現> ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <主体的に取り組む態度> ○詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の内容について話し合おうとしている。	<知識・技能> ・ノート・ワークシート <思考・判断・表現> ・観察・交流・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察・交流
3月	漢字に親しもう5 (1時間)	<知識・技能> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 <主体的に取り組む態度> ○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<知識・技能> ・ノート・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ノート・観察
	国語の力試し (3時間)	<知識・技能> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 <思考・判断・表現> ○文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。 ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○進捗のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ○多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ○表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 <主体的に取り組む態度> ○粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。	<知識・技能> ・小テスト <思考・判断・表現> ・小テスト <主体的に取り組む態度> ・観察

※定期考査の時間は別に定めております。

第3学年 国語科書写 年間指導計画

月・学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期 4月	[考えよう]手書きのよさって、何だろう (1時間)	<知識・技能> ○手書き文字のよさを理解している。 <思考・判断・表現> ○手書き文字のよさについて考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って「自然」「輝ける未来」を書こうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート・交流 <主体的に取り組む態度> ・観察
	5月 全国文字マップ (1時間)	<知識・技能> ○身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。 <思考・判断・表現> ○身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート・交流 <主体的に取り組む態度> ・観察
6月 7月	文字の使い分け (1時間)	<知識・技能> ○身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 <思考・判断・表現> ○目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って身の回りの文字の使い分けについて発表しようとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート・発表・観察 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・発表・観察
	[コラム]ユニバーサルデザイン/フォントって何だろう (1時間)	<知識・技能> ○見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザインフォントを知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。 <思考・判断・表現> ○ゴシック体との比較や身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を探すことを通して、文字文化の豊かさ確かめている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を探し、学習の見通しをもって見つけた文字について発表しようとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート・観察・交流 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・観察・交流
2 学期 9月	[総合]防災フェスタを開こう (1 時間)	<知識・技能> ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <思考・判断・表現> ○ポスターや展示物などを作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かしてポスターや展示物などを作ろうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート・作品 <思考・判断・表現> ・ワークシート・作品 <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・作品・観察
10月	三年間のまとめ (1時間)	<知識・技能> ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <思考・判断・表現> ○毛筆で「自然」「輝ける未来」を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って「自然」「輝ける未来」を書こうとしている。	<知識・技能> ・作品 <思考・判断・表現> ・作品 <主体的に取り組む態度> ・観察
11 月	[コラム]自分らしい文字 (1時間)	<知識・技能> ○手書き文字は書き手によって異なり、人柄や個性が表れることを理解している。 <思考・判断・表現> ○グループで話し合う活動のなかで、著名人の手書き文字から受ける印象を考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に著名人の手書き文字から受ける印象について考え、今までの学習を生かして未来の自分をイメージして名前を書こうとしている。	<知識・技能> ・作品 <思考・判断・表現> ・交流・作品 <主体的に取り組む態度> ・観察・交流

12月	[国語]季節のしおり③ (1時間) 書き初め (3時間)	<知識・技能> ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <思考・判断・表現> ○季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。 <知識・技能> ○書き初めの由来や各地の書初め行事、準備・手本分析・配列のしかたなどを理解し、今までに学習した知識・技能を生かしている。 <思考・判断・表現> ○書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <主体的に取り組む態度> ○進んで書初めについて理解し、学習の見通しをもって、今までの学習を生かして書き初めを書くこうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・ワークシート・観察 <知識・技能> ・作品 <思考・判断・表現> ・作品 <主体的に取り組む態度> ・観察
3学期 1月 2月 3月	[国語]冊子にまとめよう (1時間)	<知識・技能> ○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <思考・判断・表現> ○冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして印象に残った本やその感想を伝える冊子を作ろうとしている。	<知識・技能> ・作品 <思考・判断・表現> ・作品 <主体的に取り組む態度> ・観察
	書く道具が生まれる (1時間)	<知識・技能> ○筆・墨・硯・紙・鉛筆の作り方を理解している。 <主体的に取り組む態度> ○進んで筆・墨・硯・紙・鉛筆の材料や作り方を理解し、学習の見通しをもって、理解したことや感じたことを交流しようとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・観察・交流
	[発展]なりきり、書聖・王羲之 (1時間)	<知識・技能> ○高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。 <思考・判断・表現> ○「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相異点について考えている。 <主体的に取り組む態度> ○積極的に先人の筆跡に関心をもち、学習の見通しをもって「蘭亭序」をなぞろうとしている。	<知識・技能> ・ワークシート <思考・判断・表現> ・ワークシート <主体的に取り組む態度> ・観察・交流

令和7年度 社会科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 指定教科書

社会科	3学年	教科書名（出版社）	中学生の歴史(帝国書院)
		副教材	見る、解く、納得！公民資料、ラインズeライブラリ

3 学習到達目標

- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して国際協調の精神を養う。
- ・個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

4 学習の進め方

- ・歴史的分野においては、教科書に沿って学習し、時代の流れや時系列を確認できるように授業を進める。
- ・公民的分野においては、教科書を基本として学習を進め、時事に対応した授業を展開する。
- ・ディベートやグループディスカッション等を行い、思考力や表現力の向上を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・主に地理・歴史に関わる1・2年生の学習の振り返りについて、夏休みにタブレットを用いて行う。
- ・日々の学習の振り返りや定期考査の学習においては、ラインズeライブラリを使用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気づきや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期	[歴史]近代国家の歩みと国際社会 (16 時間) ・欧米諸国における「近代化」 ・開国と幕府の終わり ・明治政府による「近代化」の始まり ・近代国家への歩み ・帝国主義と日本 ・アジアの強国の光と影 <u>二度の世界大戦と日本(18 時間)</u> ・第一次世界大戦と民族独立の動き ・高まるデモクラシーの意識 ・戦争に向かう世論 ・第二次世界大戦の惨禍 <u>現代に続く日本と世界(13 時間)</u> ・敗戦から立ち直る日本 ・世界の多極化と日本の成長 ・これからの日本と世界 [公民]現代社会(10 時間) <u>現代社会と私たち</u> ・現代社会の特色 ・私たちの生活と文化 ・現代社会をとらえる枠組み	・欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きや明治維新と近代国家の形成について理解する。(知識・技能) ・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的等、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を考察し表現する。(思考・判断・表現) ・第一次・第二次世界大戦の経緯と惨禍について理解する。(知識・技能) ・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を考察し表現する。(思考・判断・表現) ・日本の民主化と冷戦下の国際社会や、日本の経済の発展とグローバル化する世界について理解する。(知識・技能) ・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、現代の社会の変化の様子を考察し表現する。(思考・判断・表現)	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・ディベートやグループディスカッション等の話し合い活動において、主体的に自らの考えを発表しているかを評価する。
2学期	[公民]政治 <u>日本国憲法と私たち(18 時間)</u> ・民主主義と日本国憲法 ・基本的人権の尊重 ・法の支配を支えるしくみ <u>民主政治と私たち(18 時間)</u> ・民主政治と私たち ・国の政治のしくみ ・地方自治と私たち <u>経済</u> <u>経済活動と私たち(29 時間)</u> ・経済のしくみと消費 ・企業と生産 ・市場経済と金融のしくみ ・財政と私たち ・日本経済の課題とこれから	・個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。(知識・技能) ・社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し表現する。(思考・判断・表現) ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。(知識・技能) ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察、構想し、表現する。(思考・判断・表現) ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。市場経済の基本的な考え方について理解する。(知識・技能) ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察し表現する。(思考・判断・表現)	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・提出課題に対して主体的に追及しているかを評価する。 ・ディベートやグループディスカッション等の話し合い活動において、主体的に自らの考えを発表しているかを評価する。

3学期 1 2 3	[公民]国際 国際社会と私たち(16 時間) ・国際社会のしくみ ・地球的課題とその解決 課題探究学習(2 時間) ・課題探究と私たち	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには, 国際協調の観点から, 国家間の相互の主権の尊重と協力, 各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解する。(知識・技能) ・日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について考察, 構想し, 表現する。(思考・判断・表現)	<知識・技能/思考・判断・表現> 左記の評価規準について、小テスト・定期テスト・提出課題を行い、評価する。 <主体的に取り組む態度> ・提出課題に対して主体的に迫っているかを評価する。
---	---	---	--

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 数学科 第3年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・数量や図形などについての基礎的な概念を理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2 指定教科書

数 学 科	3 学 年	教科書名（出版社）	新しい数学3（東京書籍）
		副教材	数学の学習ノート ライズ e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・平方根と多項式、二次方程式、図形の相似と円周角・中心角、三平方の定理、関数 $y=ax^2+bx+c$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・拡張した範囲の数の性質や計算について考察する力、文字を用いて数量の関係や法則を表現する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目して式・表・グラフと相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定したり適切な調査方法を判断したりする力を身に付ける。【思考力・表現力・判断力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

- 授業の進め方
 - ・教科書に沿って知識や技能を反復練習で習得出来るように進めていく。
- 思考力・判断力・表現力の高め方
 - ・問題演習の際に、周囲と学び合い活動をして自分の考えを整理させる。
 - ・解答の別解を考えさせ、一通りの考え方でなくても良いことを理解させる。
- 望ましい家庭学習
 - ・予習…教科書を読み進めさせ、副教材やライズを解き進めさせる。
 - ・復習…授業で扱った問題をもう一度解かせ、副教材や e ライブラリ等で定着を図らせる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価	学習の実現状況
A 十分満足できる	80%以上
B おおむね満足できる	50%以上
C 努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定	各評定の範囲
5 特に高い程度のもの	90%以上
4 十分満足できる	80%以上
3 おおむね満足できる	50%以上
2 努力をようする	20%以上
1 一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…章や単元の区切りに演習プリントを配布
- ・タブレットの活用…授業で扱ったプリントの資料をロイロノート上に保管
e ライブラリを活用して自己学習（発展、補充）を進めさせる。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

学期・月	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期			
4	1 式の計算【18】 ○多項式の計算(7) ・単項式と多項式の乗法、除法 ・多項式の乗法 ・展開の公式	1 式の計算 <知識・技能> ・単項式と多項式の乗法と除法の計算ができる。 ・展開の公式[1]～[4]を用いて、式の展開や計算ができる。 ・共通な因数でくくり出す因数分解ができる。	1 式の計算 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト
5	○因数分解(6) ・因数分解 ・因数分解の公式 ○章末(2)	・因数分解の公式[1]～[4]を用いて、式を因数分解することができる。 <思考・表現・判断> ・式の展開や因数分解を利用して問題を解くことができる。 ・数量及び数量の関係を、文字を用いた式で証明することができる。 ・証明を振り返り、数に関する新たな性質を見いだすことができる。	<思考・表現・判断> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・小テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート ・小テスト
6	2 平方根【17】 ○平方根(6) ・平方根 ・有理数と無理数 ○根号を含む式の計算(9) ・根号をふくむ式の乗法と除法 ・根号をふくむ式の加法と減法 ・いろいろな計算 ・近似値と有効数字 ○章末(2)	2 平方根 <知識・技能> ・数の平方根の必要性和意味を理解し、 $\sqrt{\quad}$ の記号を正しく用いることができる。 ・平方根をふくむ式について、四則計算やいろいろな計算ができる。 ・近似値と誤差の意味を理解している。 <思考・表現・判断> ・有理数と無理数の違いについて考察し、数を分類することができる。 ・分母を有理化する方法を考察し、その意味と必要性を説明することができる。	2 平方根 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・小テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート ・小テスト
7	3 2次方程式【15】 ○2次方程式(9) ・2次方程式とその解 ・因数分解による解き方 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・いろいろな2次方程式	3 2次方程式 <知識・技能> ・2次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解している。 ・平方根や因数分解の考え、解の公式を利用して2次方程式を解くことができる。 <思考・表現・判断> ・2次方程式を能率的に解く方法を考察することができる。 ・2次方程式を具体的な場面で利用することができ、得られた結果を意味付けたり活用したりすることができる。	3 2次方程式 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・小テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物

2学期 9 10 11 12	○2次方程式の利用(4) ・2次方程式の利用 ○章末(2) 4 関数=【16】 ○関数=(9) ・2乗に比例する関数 ・関数=のグラフ ・関数=の値の変化 ○関数の利用(5) ・関数=の利用 ・いろいろな関数 ○章末(2) 5 相似【23】 ○相似な図形(10) ・相似な図形の性質 ・三角形の相似条件 ・相似な図形の面積の比 ・相似な立体とその性質 ○平行線と線分の比(8) ・三角形と比 ・中点連結定理 ・平行線と線分の比 ○相似の利用(3) ・縮図の利用 ・相似の利用 ○章末(2)	4 関数= <知識・技能> ・関数=の意味と特徴を理解し、与えられた条件から式や表、グラフに表すことができる。 ・式で表すことが困難な関数関係について、表をもとにしてグラフに表すことができる。 <思考・表現・判断> ・具体的な事象から関数=を見いだすことができる。 ・関数=の特徴を表、式、グラフで捉えたとともに、それらを相互に関連付けて考察し、説明することができる。 ・関数=を具体的な場面で利用することができる。 ・平面座標上の座標や線分の長さ、面積の大きさの考えを関数=を活用して求めることができる。 ・式で表すことが困難な関数関係について、表やグラフでその特徴を考察することができる 5 相似 <知識・技能> ・相似な図形の性質を理解し、それを活用して辺や角の大きさを求めることができる。 ・三角形の相似条件を理解し、それを活用して相似な三角形、辺や角の大きさを求めることができる。 ・相似な図形の面積比と体積比を理解し、それを活用して辺や角、面積や体積の大きさを求めることができる。 ・平行線と線分の比の性質や中点連結定理を用いて、線分の長さなどを求めることができる。 <思考・表現・判断> ・三角形の相似条件などをもとに、図形の性質を証明することができる。 ・平行線と線分の比や中点連結定理を用いて図形の性質を捉えることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。	・レポート ・小テスト 4 関数= <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・小テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート ・小テスト 5 相似 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・小テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート ・小テスト
3学期 1 2 3	3年間の総復習 問題演習【15】	1年次から3年次までの実践的な問題演習を実施し、実力を高める。	3年間の総復習 <知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・小テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・レポート ・小テスト

※その他定期考査として4時間の授業時数を確保しています。

数学Ⅱ

学期・月	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4	8 章 標本調査【6】 ○母集団と標本（5） ・母集団と標本 ・標本調査の利用 ○章末（1）	8 章 標本調査 <知識・技能> ・標本調査の方法を理解し、それに関する語句の意味を理解している。 ・適切な標本の無作為な抽出法を理解している。 <思考・表現・判断> ・本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	8 章 標本調査・1、2 年次の復習 <知識・技能> ・定期考査 ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・小テスト ・レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・小テスト
5	1・2 年次の復習 【方程式】	1・2 年次の復習 <知識・技能> ・方程式を解けるようにする。（1 次方程式、連立方程式）	
6	【関数】 【代表値・確率・箱ひげ図】	・それぞれの関数の式を求めることができる。（反比例、一次関数） ・代表値や確率を求めることができる。	
2 学期 9 10	6 章 円【10】 ○円（8） ・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円の性質の利用 ○章末（2）	6 章 円 <知識・技能> ・円周角と中心角の関係を理解し、円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。 ・円周角の定理の逆を理解し、円に内接している四角形を見つけることができる。 <思考・表現・判断> ・円周角の定理を活用して図形の性質を証明することができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用できる。	6 章 円・7 章 三平方の定理 <知識・技能> ・定期考査 ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・小テスト ・レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・小テスト
11	7 章 三平方の定理【11】 ○三平方の定理（5） ・三平方の定理 ・三平方の定理の逆	7 章 三平方の定理 <知識・技能> ・三平方の定理の意味を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ・三平方の定理の逆を理解し、それを用いて 3 辺の長さから直角三角形を求めることができる。	
12	○三平方の定理の利用（5） ・平面図形への利用 ・空間図形への利用 ○章末（1）	<思考・表現・判断> ・三平方の定理をいろいろな方法で証明することができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で利用できる。	
3 学期 1	3 年間の総復習 問題演習【5】	1 年次から 3 年次までの実践的な問題演習を実施し、実力を高める。	<知識・技能> ・定期考査 ・小テスト <思考・表現・判断> ・定期考査 ・小テスト ・レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・行動記録 ・提出物 ・小テスト
2			
3			

令和7年度 理科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 指定教科書

理科	3 学 年	教科書名（出版社）	新しい科学 3（東京書籍）
		副教材	理科の完全学習 3年（正進社） 東京都模擬トレ5（正進社） ライنز e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・化学変化について、見通しをもって観察・実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現することができるようになる。
- ・運動とエネルギーについて、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現することができるようになる。
- ・生命の連続性について、観察・実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現することができるようになる。
- ・地球と宇宙について、天体の観察・実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現することができるようになる。
- ・身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察・実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察して判断できるようになる。

4 学習の進め方

- ・「課題を把握する→仮説を立てて意見を交換する→観察・実験を行う→考察・推論をする」という基本的な流れにのっとり、考察・推論したことを結論付けたり、発表したり、レポートにまとめたりすることで課題を解決していく授業を展開する。
- ・観察・実験の結果を処理する段階、仮説の妥当性を検討する段階、新たな知識やモデル等を創造する段階で行われる生徒間の意見交換・議論を通して、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。
- ・授業で獲得した知識を活用する力をつけるため、副教材の問題集等を活用して演習を行っていく。
- ・仮説を立てる時、実験結果をまとめるとき等にタブレット端末を活用することで、より効率的な意見交換を目指すとともに、正確なデータ処理の方法を身に着けることを目指す。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・各単元、各章の終了後など、定期的に副教材のワークや e ライブラリアドバンスの確認テスト等を解くことで知識の定着を図る。
- ・教科書に記載の QR コードを読み取ることで、実験動画や関連する動画を視聴するなど、タブレット端末を活用した振り返りを行うことで、知識の定着を図る。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期	化学変化とイオン(27)	<知識・技能> 化学変化におけるイオンに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 化学変化におけるイオンについての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 化学変化におけるイオンの観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
4	水溶液とイオン(9)		
5	酸、アルカリとイオン(9)		
6	化学変化と電池(9)		
7	運動とエネルギー(31)	<知識・技能> 運動とエネルギーに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 運動とエネルギーに関わる現象についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 運動とエネルギーに関わる現象の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
2学期	・物体の運動(10)		
9	・力のはたらき方(10)		
10	・エネルギーと仕事(11)		
11	生命の連続性(24)	<知識・技能> 生物の成長と進化に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 生物の成長と進化の観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 生物の成長と進化の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
12	・遺伝の規則性と遺伝子(8)		
	・生物の多様性と進化(7)		
3学期	地球と私たちの未来のために(28)	<知識・技能> 自然環境や科学技術に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <思考・判断・表現> 自然環境や科学技術についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見だして表現しているなど、科学的に探究している。 <主体的に取り組む態度> 自然環境や科学技術の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等 <思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等 <主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
1	・自然のなかの生物(6)		
2	・自然環境の調査と保全(8)		
3	・科学技術と人間(7)		
	・持続可能な社会をつくるために(7)		

1学期	地球と宇宙(26)	<知識・技能> 天体の動きに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<知識・技能> 実験・観察・実習の取り組みの様子、ワークシートの記入状況、授業の取り組みの様子、定期考査、ワークシート、プリント、小テスト等
4	・地球の運動と天体の動き (12)	<思考・判断・表現> 天体の動きの観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	<思考・判断・表現> 定期考査、ワークシートの記入状況、実験プリントの考察への取り組みの様子、ノートの思考課題への取り組みの様子、小テスト等
5			
6			
7			
8			
2学期	・月と金星の見える方(7)	<主体的に取り組む態度> 天体の動きの観察、実験に進んでかわり、見直しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<主体的に取り組む態度> 授業の取り組みの様子、授業中の発言、ノートの記入状況、ワークシートの記入状況、ワークの記入状況等
9			
10			
11	・宇宙の広がり(7)		
12			
3学期			
1			
2			

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 音楽科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・音楽の学習や活動を通して、心と感性を豊かにし、音楽を愛好する心を養う。

2 指定教科書

音楽科	3学年	教科書名（出版社）	中学生の音楽2・3上、下（教育芸術社） 音楽のおくりもの中学器楽（教育出版）
		副教材	コーラスフレンズ（教育芸術社）、ラインズeライブラリ

3 学習到達目標

- ・歌唱の活動を通して、表現に関わる知識や技能を身に付けてそれを生かし、歌唱表現を創意工夫することができるようになる。
- ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるようにする。
- ・鑑賞の活動を通して曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや音楽の多様性について理解することができるようにする。
- ・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽を愛好する心をもつ。
- ・日本の伝統音楽や文化に興味をもたせ、そのよさを世界に広める心情にする。

4 学習の進め方

- ・教科書の利用、範晶（範奏）を主に抒情的な歌唱表現を工夫させる。
- ・鑑賞教材より西洋音楽の歴史（音楽文化の成り立ち）を理解させる。
- ・グループディスカッション等（各パートや指揮と伴奏）を行い、協働作業を通して思考力や表現力の向上を目指し、合唱を作り上げる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・模範歌唱や合唱を動画にて学習する。
- ・日々の学習の振り返りや定期考査の学習においては、ラインズeライブラリを使用する。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1学期 4	花（2） MyVoice（1）	・歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、表現を工夫して重唱する。 ・日本語の美しい響きを大切にしながら、発音に気を付けて歌う。 ・豊かな歌声で、気持ちを込めて歌う。	・音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→観察 ・姿勢や呼吸法【思考・判断・表現】→観察
5	花の街（2）	・詩にこめられた思いが、旋律や強弱にどのように生かされているかを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。	・音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→観察
6	西洋音楽史（2） アイーダ	・ロマン派の音楽の特徴を理解する。 自由で美しい音楽を感じ取る。 ・国民楽派の国籍性のある音楽について学習し、国柄の表れを感得する。 ・オペラ（総合芸術）について理解する。	・楽曲について【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】→鑑賞ノート ・音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→実技テスト
7	大地讃頌（6） （混声四部合唱）	・パートの役割を理解し、正しい音程で歌う。 ・混声四部の重厚な響きを、豊かな発声で作り上げる。 ・パートの役割を理解し、詞の内容を考えながら正しい音程で表現を工夫して歌い合わせる。	
2学期 9	合唱コンクールの自由曲（5） （混声三～四部合唱）	・混声合唱の重厚な響きを生かしながら、互いの声や伴奏をよく聴いて歌う。 ・曲の作者のメッセージ性を理解して、深い合唱表現を工夫する。	・音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】→実技テスト
10	西洋音楽史（2） ボレロ	・バロック→古典派→ロマン派→近代・現代 各時代区分における作曲者、楽曲について ・近代印象派の音楽を聴き、絵画的な特徴を感じ取る。 ・曲全体を通して繰り返されるリズムと2つの旋律に注目しながら聴く。	・西洋音楽史【知識】→定期考査 ・楽曲について【知識】→定期考査 ・特徴をとらえたまとめ【思考・判断・表現】→鑑賞ノート
11			
12	ポピュラー音楽（2）	・ジャンルをつかみ、洋楽、邦楽を楽しみながら聴く。	・ポピュラー音楽のジャンルについて【知識】→定期考査
3学期 1	音楽を楽しむためのルール（1）	・著作権について理解し、これからの音楽活動を楽しむ。	・著作権について気付いたことの表記【思考・判断・表現】→ワークシート
2	・旅立ちの日に＜式歌＞（3）	・中学生生活を振り返りながら、歌詞の内容に注目して、心を込めて合唱する。	・卒業式にて発表【学習に向かう態度】
3			

※定期考査、実技テストの時間は別に定めております。

令和7年度 美術科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を工夫して表すことができるようにする。また、自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和などについて考え、美術文化に対する感じ方を広げることができるようにし、楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 指定教科書

美術科	3年	教科書名（出版社）	美術2・3（光村図書）
		副教材	資料集 美術資料（秀学社） ラインズeライブラリ （用具 クロッキー帳、ポスターカラー、タブレット、鉛筆、篆刻セット）

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

- ・第1学年において身に付けた知識や表現に関する資質と能力を十分に活用させるために1題材に時間をかけて進めていく。
- ・題材ごとに鑑賞の時間を設定し、作者がどのようにして主題を生み出し、表現の工夫をしているのかについて考えさせ、思考力・判断力・表現力の育成につなげる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・個別最適な学びのために、授業内で使用する資料や作品制作の手立てをデジタルとアナログの媒体両方を用いる。
- ・美術表現の可能性を広げるために、映像メディアの積極的な活用を図る。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1学期	オリエンテーション （1時間）	○美術についての理解を深める ・評価方法の確認	
4	自分だけの“印”をつくろう	<知識・技能> 篆刻について理解を深め、石の特徴や使用目的からデザインを考え、用具を選択して制作することができる。	<知識・技能> 期末考査、ワークシート、作品
5	・印の歴史		<思考・判断・表現>
6	・篆刻の技法		作品、作品解説、期末考査
7	（14時間）	<思考・判断・表現> 自分らしさというテーマからデザインを考えて、石の特徴を捉えてから表現の工夫を考えて制作している。	<主体的に取り組む態度> 授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り
2学期	仏像の世界へようこそ	<知識・技能> 日本や世界の文化財について理解を深めるとともに、仏像の種類や技法の違い、宗教・歴史的な背景についての知識を身に付けることができる。	<知識・技能> 期末考査
9	・日本や世界の文化財		<思考・判断・表現>
10	・仏像のなりたち		ワークシート、期末考査
	・仏像の種類と技法		<主体的に取り組む態度>
	・京都・奈良で鑑賞できる 仏像 （4時間）	<思考・判断・表現> 仏像の形や色彩、材料などの特徴や印象、本質的なよさや美しさに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。	授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り
11	今の自分、これからの自分	<知識・技能>	<知識・技能>
12	・グレースケールの復習	形や特徴、個有色、立体感などを表現するために、鉛筆の濃淡・タッチ・ぼかしなどの技法を適切に用いることができる。	期末考査、ワークシート、作品
	・正中線、形の捉え方		<思考・判断・表現>
	・構図の種類	<思考・判断・表現>	作品、作品解説、期末考査
	・さまざまな表現の自画像		<主体的に取り組む態度>
	作品の鑑賞 （13時間）	自己を見つめ、自分の内面から感じとったことを軸に主題を生み出すことができる。 また、自分自身の特徴や魅力を表現するために構図を工夫することができる。	授業中の取り組み、ワークシート、授業の振り返り
3学期			
1			
2			
3			

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 保健体育科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 指定教科書

保健 体育	3 学 年	教科書名（出版社）	中学保健体育（学研）
		副教材	図解中学体育（あかつき）、ラインズ e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・運動についての自己の仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

4 学習の進め方

- ・各競技の初めは一斉指導を行い、その後、ペア学習やグループ学習を行う。
- ・グループ学習により、自己及び仲間の課題を見出し、解決に向けて考え話し合う。
- ・学習カードにより、自己を振り返り、次の授業への課題を見つけ、取り組む内容を考える。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に 取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・ICT：実技では動画撮影をし、動きの分析を行う。保健では調べ学習等において活用する。
- ・e ライブラリ：復習に活用

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期 4	体づくり運動 （4 時間）	《知識・技能》 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	陸上競技 短距離走・リレー （10 時間）	《知識・技能》 技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。短距離走・リレーでは中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 《思考・判断・表現》 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	体育理論（1 時間） 文化としてのスポーツの意義	《知識》 文化としてのスポーツの意義について理解している。 《思考・判断・表現》 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	《知識》 定期テスト 《思考・判断・表現》 定期テスト 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	保健（4 時間）	《知識》 健康な生活と疾病の予防（感染症・性感染症・社会取り組み・医療機関・医薬品）について、理解している。 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
7	体力テスト （3 時間）	《知識》 体力テストの意義や体力評価、実施方法について理解している。 《思考・判断・表現》 体力テストの意義や体力評価、実施方法について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、実施方法を守り、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	水泳（12 時間）	《知識・技能》 水泳の技能の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。基本的な技を滑らかに安定して行うことができる。 《思考・判断・表現》 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、自己の役割を果たそうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
2 学期 9	体づくり運動 （2 時間）	《知識》 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察

10		《主体的に学習に取り組む態度》 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	バスケットボール（9時間）	《知識・技能》 バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	バレーボール（9時間）	《知識・技能》 技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。役割に応じたボールや安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 自主的に取り組むとともに、作戦などの話し合いに貢献しようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
11	ソフトボール（8時間）	《知識・技能》 ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	保健（9時間）	《知識》 健康と環境（適応能力・至適範囲・空気・飲料水・生活排水・ゴミ・汚染と保全）について、理解している。 《思考・判断・表現》 健康と環境（適応能力・至適範囲・空気・飲料水・生活排水・ゴミ・汚染と保全）について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 健康と環境（適応能力・至適範囲・飲料水や空気）についての学習に自主的に取り組もうとしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
12	体育理論（1時間） 国際的なスポーツ大会とその役割	《知識》 文化としてのスポーツの意義について理解している。 《思考・判断・表現》 文化としてのスポーツの意義について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
3学期 1	ダンス（14時間）	《知識・技能》 ダンスの特性や由来、表現の仕方などについて理解している。多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話し合いに参加しようすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察

2	体づくり運動 (2時間)	《知識》 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 《思考・判断・表現》 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	保健（6時間）	《知識》 健康と環境（適応能力・至適範囲・飲料水や空気）について、理解している。 《思考・判断・表現》 健康と環境（適応能力・至適範囲・飲料水や空気）について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 《主体的に学習に取り組む態度》 健康と環境（適応能力・至適範囲・飲料水や空気）についての学習に自主的に取り組もうとしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
	ソフトボール (7時間)	《知識・技能》 ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察
3	体育理論（1時間） 人々を結び付けるスポーツ	《知識》 文化としてのスポーツの意義について理解している。 《思考・判断・表現》 文化としてのスポーツの意義について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。 《主体的に学習に取り組む態度》 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	《知識・技能》 定期テスト、学習カード 《思考・判断・表現》 定期テスト、学習カード（課題設定・解決、考察等）、授業観察 《主体的に学習に取り組む態度》 学習カード（振り返り等）、授業観察

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 技術科 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指定教科書

技術科	3学年	教科書名（出版社）	テクノロジーに希望をのせて（東京書籍）
		副教材	学習用端末 表計算アプリケーションソフト 計測制御・双方向性のあるコンテンツ教材（オーロラクロック） ラインズeライブラリ

3 学習到達目標

D 情報の技術

- ・情報の表現、記録、通信等の原理・法則とデジタル化の基礎的な技術の仕組みおよび情報モラルについて理解する。
- ・問題を見出して課題を設定し、メディアを複合する方法とその効果的な利用等を構想して具体化することができる。
- ・計測・制御のプログラムを利用した問題解決の手順や方法を知り、実際に目的に合ったプログラムを作成することができる。
- ・双方向性のあるコンテンツのプログラムを利用した問題解決の手順を知り、活用できるブロックプログラムを作ることができる。

4 学習の進め方

- ・道具の使い方や構造の仕組みなどを学習し、実際に練習して本番の製作に臨むように指導する。
- ・製作の中での実際の失敗例を通し、その失敗の原因が何なのかを考え学習したことを製作に生かす。
- ・生活の中での課題や学習した知識を通して、自ら課題を設定し、解決方法を調べ解決していく。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・授業終了時に時間を設け、まとめの時間を作り、実習等が遅れている生徒や取り組めていない生徒に対して、確認等が行える時間を設ける。
- ・課題の提出や製作の様子をまとめさせ、実習時に確認させることで自らの改善に生かす。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明がていねいで、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1学期 4	コンピュータの基本的な仕組み 情報の技術（５） - 生活や社会との関わり ①社会における情報に関する技術 ②情報に関する技術とその役割 - 情報とコンピュータ ①情報を扱う機器の構成 - 表現と伝達 ①情報通信ネットワークの構成 ②情報を伝えるしくみ ③インターネットの利用 ④情報を処理するしくみ ⑤デジタル化の方法と情報の量 - 情報セキュリティー ①情報通信ネットワークの危険性 ②情報セキュリティー - 情報モラルについて ①利用するときのモラル ②人権や個人情報の保護 ③知的財産の保護	<知識・技能> ・コンピュータの仕組みについて理解する。 ・情報通信の種類と構成について理解する。 ・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 ・情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。 ・著作権など情報モラルについて理解する。 ・情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について説明できる。 ・知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる ・プログラムとプログラム言語について理解する。 ・問題解決するようなプログラムを作成することができる。 ・双方向性のある情報通信プログラムを作ることができる。 【計測制御プログラム】 ・処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ・処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認等ができる。 ・計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認等ができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認等ができる。 【双方向の情報伝達】 ・メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 ・双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認等ができる。	<知識・技能> 生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。（定期考査、ワークシート、保存されたファイル） <思考・判断・表現> 生活上の問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツのプログラムの設計・制作などの課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。（定期考査、ワークシート、保存されたファイル） <主体的に学習に取り組む態度> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。（保存されたファイル、ワークシート、振り返りシート）
2学期 9	プログラムとプログラム言語 ・フローチャートについて（５） ・計測制御プログラム作成（３） ①情報のデジタル化 ②生活の中にある計測・制御 ③計測・制御のしくみ ④情報処理の手順とプログラム ⑤プログラムによるLEDの制御	<思考力・表現力・判断力> ・使用目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 ・プログラムを活用し、課題を解決するための技術を考えている。 ・よりよい社会のために情報に関する技術を適切に活用している。 ・身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 【計測制御プログラム】 ・処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ・処理の流れや手順を図で適切に表現でき、プログラムの制作、動作の確認等ができる。 ・計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認等ができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認等ができる。 【計測制御プログラム】 ・計測・制御に関わる問題を見だし、課題を設定できる。 ・データの流れをもとに解決策となる計測・制御システムを構想し、情報処理ができる。 ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を	
3学期 1	双方向性のコンテンツプログラム作成・（２） ①生活の中のメディア ②双方向の情報伝達の構想 ・情報の収集と加工 製作品の評価（１）	【計測制御プログラム】 ・計測・制御に関わる問題を見だし、課題を設定できる。 ・データの流れをもとに解決策となる計測・制御システムを構想し、情報処理ができる。 ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を	

		確認しながら作業ができる。 ・問題解決を振り返り、改善及び修正を考えることができる。 【双方向の情報伝達】 ・双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見つけ、課題を設定できる。 ・使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら合理的な解決作業を考えることができる。 ・問題解決を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 <主体的に取り組む態度> ・生活を向上させる手立てを提案できる。 ・身の回りの計測・制御システムを再現することができる。 ・目的に合った双方向性のあるブロックプログラムを作り運用ができる方法を考えることができる。 ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 【計測制御プログラム】【双方向の情報伝達】 ・自分なりの新しい考え方で解決策を構想しようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている ・問題解決とその過程を振り返り改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。	
--	--	---	--

令和7年度 技術・家庭科（家庭分野） 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指定教科書

家庭科	3学年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生（開隆堂）
		副教材	ワークノート B-2 衣生活・住生活（地域教材社） C 消費生活・環境（地域教材社） デジタル平面計画（株式会社ディーディーエス） ラインズ e ライブラリ

3 学習到達目標

- ・持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付ける。
- ・健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付ける。
- ・これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境や住生活についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境や住生活について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

4 学習の進め方

- ・日常生活との関わりや課題を見だし、解決に必要な基本的な知識や技能の理解を図る。
- ・デジタルコンテンツやワークなどを適宜使い分けながら、基本的な知識や技能の理解を深める。
- ・実習・実践と基本的な知識・技能がつながるよう、関連する内容を相互に行う。
- ・実習の手順や段取りを自ら考え、協力して実習・実践することで、協力・協働すること大切さを学ぶとともに、次なる課題を設定し、改善していく活動を通して、思考・判断・表現力を養う。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・授業の資料や見本等の動画、ワークシート配布。
- ・課題（ワークシート等）提出。
- ・基本的な知識の定着促進。（e ライブラリ、クイズ問題など）

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT（タブレットやTV、プロジェクターなど）、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい（めあて）が分かり、授業の終わりに振り返り（まとめ）がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1学期 4 5 6 7	C消費生活・環境 家庭生活と消費(2) 購入・支払いと生活情報 (3)	<知識・技能> ・売買契約の仕組みについて理解している。 <思考・判断・表現> ・物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定している。 <知識・技能> ・購入方法や支払い方法の特徴を理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み(三社間契約)について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 <思考・判断・表現> ・物資・サービスの選択・購入について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を浄化したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について論理的に表現している。	<知識・技能> ・定期考査 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子 <知識・技能> ・定期考査 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
2学期 9 10 11 12	消費者被害と消費者の 自立(2) 持続可能な社会(4) B衣食住の生活 (住生活) 住まいの働きと心地よ さ(2)	<知識・技能> ・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。 <思考・判断・表現> ・自立した消費者としての責任ある消費行動について考え、工夫している。 <知識・技能> ・製作する物に適した材料や縫い方について理解していると同時に、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 <思考・判断・表現> ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物を製作について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動について考え、工夫している。 <知識・技能> ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。 ・室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について理解している。 <思考・判断・表現> ・室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。	<知識・技能> ・定期考査 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子 <知識・技能> ・定期考査 ・実習の取り組みの様子 ・作品 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・実習の取り組みの様子 ・作品 <知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・ワークシートの記述 ・実習の取り組みの様子 <知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述 ・授業の取り組みの様子
3学期 1 2	安全な住まいで安全な暮らし(3)	<知識・技能> ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への整え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 <思考・判断・表現> ・家庭内の事故の防ぎ方や自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだ	<知識・技能> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・ワークシートの記述 <主体的に取り組む態度> ・ワークノートの記述

3	家庭分野の学習を終えて(0.5)	して課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・授業の取り組みの様子
---	------------------	--	-------------

※定期考査の時間は別に定めております。

令和7年度 外国語科(英語) 第3学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 指定教科書

英語科	3学年	教科書名(出版社)	NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 (三省堂)
		副教材	ライズ e ライブラリ、英語マスターノート、新英語のワーク、3年間の英語ぎゅぎゅっと総まとめ

3 学習到達目標

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

4 学習の進め方

- ・常活動で生徒&生徒での会話やBingo、スピーキング教材等を行う。
- ・教科書内容解説はオールイングリッシュを目指し、既習表現を用いてリスニング&スピーキング能力を高める。
- ・思考・判断・表現力向上のため、自由度の高い出題形式を意識して英作文の問題を作ることや、文法や語彙的な精度よりも思考しその場に応じた表現を判断し運用する能力を測るようなパフォーマンステストの評価基準を設定する。
- ・家庭学習については、ノートの意味調べを行い、ワークやタブレット教材の宿題等を用い、その日に学んだ単元の復習を行うことで、授業での学習効果を増大させる。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・ライズ e ライブラリを課題にして、文法事項の理解度を自分で確認できるようにする。また、デジタル教科書を用いてかてい家庭学習でも音声に触れられるようにする。

7 生徒アンケートの項目内容

項目1	説明が簡潔で、分かりやすい。
項目2	考える時間が十分にあり、適切な速さで授業が進められている。
項目3	教科書だけでなく、ワークシートや黒板に書かれた内容、ICT(タブレットやTV、プロジェクターなど)、具体物などの教材が工夫されるなど、取り組みやすい授業である。
項目4	先生は生徒の発言や質問に適切に対応してくれる。
項目5	授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。
項目6	意見交換でき、新たな気付きや発見、考えが広がったり深まったりすることがある。
項目7	授業後に、学んだ内容を復習したいと思える授業である。

8 年間指導・評価計画

月・学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標） ※観点印 ・＝＜知識・技能＞ ◎＝＜思考・判断・表現＞ ○＝＜主体的に学習に取り組む態度＞	評価の観点と方法
1 学期 4	Lesson 1 Join Us (13)	・現在完了形（経験用法・完了用法・継続用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形（経験用法・完了用法・継続用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ◎海外の中学生に紹介するために、最近夢中になっていることや打ち込んでいることについて、詳しい説明をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ◎目的地への行き方を決めるために、（運行状況に着目し、）駅のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉えることができる。 ◎「誘う」「誘いに応じる」「誘いを断る」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	＜知・技＞ 定期考査・小テスト ＜思・判・表＞ 定期考査・パフォーマンステスト ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 定期考査・ノートチェック・提出物
5	Lesson 2 The Power of Music (17)	・現在完了進行形の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了進行形の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈help＋A＋動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・〈help＋A＋動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈It is ... (for A) to 〉の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・〈It is ... (for A) to 〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、わからないところを確認したり、聞き返したりしながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に答えたりすることができる。 ◎記事を投稿するために、「○○な気分のときに聞いてほしい曲」について、曲の特徴や聞いたときの気持ちを加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 ◎施設を回る順番を決めるために、（場所や時間に着目し、）アナウンスを聞いて、要点を捉えることができる。 ◎「根拠を示して説明する」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	＜知・技＞ 定期考査・小テスト ＜思・判・表＞ 定期考査・パフォーマンステスト ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 定期考査・ノートチェック・提出物
6	Lesson 3 Cranes for Peace (17)	・受け身の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・受け身の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・受け身（by ... の文）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・受け身（by ... の文）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ◎時の流れに沿ってできごとをまとめるために、（時間経過と人物の様子に着目し、）佐々木禎子さんについて書かれた物語を読んで、概要を捉えることができる。 ◎好みに合う旅行プランを提案するために、相手のしたいことや好きなことについて書かれたプロフィールを読み、読んだことに基づき引用するなどして、旅行の行程などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ◎音楽の特徴をまとめるために、（段落のタイトルに着目し、）音楽に力をもたらすものについて書かれた記事を読んで、要点を捉えることができる。	＜知・技＞ 定期考査・小テスト ＜思・判・表＞ 定期考査・パフォーマンステスト ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 定期考査・ノートチェック・提出物
7			
2 学期 9	Lesson 4 Bollywood Movies (17)	・後置修飾（動詞の-ing 形）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・後置修飾（動詞の-ing 形）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・後置修飾（過去分詞）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・後置修飾（過去分詞）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈be glad to ...〉の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。	＜知・技＞ 定期考査・小テスト・スプリングテスト ＜思・判・表＞ 定期考査・パフォーマンステスト ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 定期考査・ノートチェック・提出物

10	Lesson 5 Translating Culture (16)	・〈be glad to ...〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手の意見に理解を示しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。 ◎意見を投稿するために、与えられたテーマについて書かれた投稿を読み、読んだことに基づき引用するなどして、事実や自分の考えなどを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ◎ツアーで楽しむ場所を決めるために、(ツアーの内容と時間に着目し、) アナウンスを聞いて、必要な情報を捉えることができる。 ◎「手伝いを申し出る」「提案する」「状況を説明する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 ・関係代名詞 that, which (主格) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・関係代名詞 that, which (主格) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・関係代名詞 who, that (主格) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・関係代名詞 who, that (主格) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈want + A + to + 動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・〈want + A + to + 動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手の発言の意図を確認しながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりすることができる。 ◎海外の人に読んでもらうために、4 コマ漫画について、日本の文化や習慣が伝わるような説明をつけ加えて、翻訳することができる。 ◎どちらの取り組みがよいかを決めるために、(問題とその解決策に着目し、) ニュースを聞いて、概要を捉えることができる。 ◎「理由や条件を提示する」「許可を求める」「依頼する」「承諾する」「断る」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック・提出物
11	Lesson 6 Being Fair (20)	・関係代名詞 that, which (目的格) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・関係代名詞 that, which (目的格) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 ・後置修飾 (名詞を修飾する文) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・後置修飾 (名詞を修飾する文) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ◎筆者が伝えたいことをまとめるために、(考えとその具体例に着目し、) 公平について書かれた記事を読んで、要点を捉えることができる。 ◎ラジオ CM を作るために、商品について書かれた説明を読み、特徴を伝える説明を加えたり、引用するなどして、CM の原稿を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ◎時の流れに沿ってできごとをまとめるために、(時間経過とできごとに着目し、) アメリカの公民権運動について書かれた記事を読んで、概要を捉えることができる。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック・提出物
11	Lesson 7 Design for Change (17)	・仮定法過去 (if) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・仮定法過去 (if) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・仮定法過去 (I wish) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・仮定法過去 (I wish) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈If I were you, I would〉の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・〈If I were you, I would〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック・提出物

12		○話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、(会話を続けるための)つなぎことばを使いながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 ◎問題を解決するために、問題の詳細について書かれた募集要項を読み、読んだことに基づき引用するなどして、自分の考えを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 ◎指定の場所で適切な行動をとるために、(注意事項に着目し、)説明を聞いて、要点を捉えることができる。 ◎相手の条件や要望に合うものをすすめるために、(条件に着目し、)ツアーの内容について書かれたウェブサイトを読んで、必要な情報を捉えることができる。	
3学期 1 2 3	Lesson 8 For Our Future (19)	・間接疑問〈SV0〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・間接疑問〈SV0〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・間接疑問〈SV00〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・間接疑問〈SV00〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ◎筆者の考えや意見をまとめるために、(筆者の考えとその背景に着目し、)外国語との関わりについて書かれた記事を読んで、要点を捉えることができる。 ◎相手の条件や要望に合うものをすすめるために、(人数や時間に着目し、)イベントの案内を読んで、必要な情報を捉えることができる。 ◎メッセージ動画を作るために、現在の自分の状況や10年後の自分に質問したいことについて、自分の考えや気持ちをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ◎筆者が伝えたいことをまとめるために、(主題と具体例に着目し、)バイオミメティクスについて書かれた記事を読んで、要点を捉えることができる。	<知・技> 定期考査・小テスト <思・判・表> 定期考査・パフォーマンステスト <主体的に学習に取り組む態度> 定期考査・ノートチェック・提出物

※定期考査の時間は別に定めております。